



地場企業、銀座やイタリアへ

備後デニム 海外にPR

展示や販売会

外国人観光客でにぎわう東京・銀座で展示と販売イベント、最先端ファッションの発信拠点の一つイタリア・ミラノでの展示会参加。備後圏域のデニムを海外にPRする動きが活発化している。知名度を上げ、産地の巻き返しを図る。(榎本直樹)

ミラノウニカに出展した篠原テキスタイルと山陽染工のブース
(篠原テキスタイル提供)

銀座の商業施設「GINZA SIX」(ギンザシックス)では4月30日までパンツや上着などを展示、販売した。福山、井原市や企業でつくる「備中備後ジャパニウムプロジェクト」の活動の一環。衣料など販売のアクセ(尾道市)の呼び掛けに、繊維業者やデザイナーが応じた。

山陽染工はデニムの染料を薬剤で抜いて複雑な柄を生む「段落ち抜染」の生地をPRした。「BASSEN WORKS(抜染ワークス)」と名付け、国内外に売り込む。戸板一平取締役は「海外での展示会は初めて。好感触だったので継続して参加したい」と意気込む。

竹とんぼや水鉄砲 歓声 世羅のフジ園

こどもの日に合わせ、世羅町安田のせらふじ園で5日、竹を使った遊びを体験する催しがあった。多くの家族連れたちが訪れ、見頃を迎え始めたフジ棚の下で、手作りの竹とんぼを飛ばすなどした。

竹とんぼは15分前後のサイス。あらかじめ湯につけ加工しやすくなった竹を火であぶり、羽に角度をつけて仕上げた。胴体部分の割り箸と組み合わせ、早速飛ばした。小学3年母下

心愛さん(8) 岡山市南区 心愛さん(8) 岡山市南区 心愛さん(8) 岡山市南区

心愛さん(8) 岡山市南区 心愛さん(8) 岡山市南区 心愛さん(8) 岡山市南区

2019年5月6日(月曜日)



ピンクや紫のフジは、10日ごろから満開になる見通しという。(神下慶吾)

麦畑に農薬散布 ドローン初活用

世羅町の農事組合法人「上小国」が、町内の3農事組合法人と省力化を目指して共同購入した小型無人機ドローンで、初めて農薬を麦畑に散布した。今後は水稲にも活用を広げる。

新生児フォト 自然さが人気

尾道のブルムスさん 高齢者記念日も

プロのカメラマンが撮影する「新生児フォト」に出合った。「自分が子どもを産んだときほも撮りたい」と現地でノウハウを学んだ。7年ほど前から福山市の実家で撮影活動を始